

授業改善につながる校園内研修ガイドブックの作成

－ 組織的・継続的な校園内研修の実現をめざして －

学籍番号 169967

氏名 森寄章代

主指導教員 木原俊行

1. 堺市の校園内研修における課題

本章では、堺市の校園内研修の実態、本研究の必要性と目的について述べる。

第1節「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上」では、国が求める教員研修に関する具体的な方向性や教育委員会の支援について示す。

第2節「日本の校内研修の特長」では、日本で継続して行われてきた授業研究の文化の特長について言及する。

第3節「校内研修の課題」では、学習指導要領の改訂に伴い、各学校ではどのような研修が求められているといえるのか、また、これまでの研究で明らかになっている校内研修の知見を整理する。

第4節「堺市における校園内研修の現状と課題」では、堺市における校園内研修の特徴を、研究授業を伴う校園内研修と伴わない校園内研修の実施回数、研修主任の経験年数と担当回数、研修主任の思いから分析し、課題を詳述する。

2. 校園内研修を支援するためのガイドブックの要件

本章では、校園内研修を支援する校園内研修ガイドブック（以下、ガイドブックとする）の要件について論じる。

第1節「堺市のガイドブックの作成状況」では、「堺市校園内研修の手引き-第2版-」（以下、手引きとする）の内容や構成、活用状況について調査したことを述べる。

第2節「他都市等のガイドブックとの比較」では、他都市等が発行する校内研修の手引きの特長について言及する。

第3節「ガイドブックの他都市等と堺市との手引きの内容や構成の比較」では、第1、2節で調査した堺市と他都市等の手引きの内容や構成を比較する。

第4節「ガイドブックの内容と構成」では、第1章の堺市の現状や前節の調査結果から導出した校園内研修の要件から、堺市で作成しようとするガイドブックのコンセプトを決定し、その内容を詳述する。

第5節「ガイドブックの項目と目次の決定」では、掲載が決定した項目と目次を述べる。

第6節「プロトタイプの作成」では校園内研修ガイドブックプロトタイプの一部を紹介する。

3. プロトタイプの活用

本章では、協力学校園の5名の研修主任から、プロトタイプ活用についての意見をもらい、プロトタイプを評価し、改善に向け考察したことについて述べる。

第1節「プロトタイプ活用における意見収集の方法」では、協力学校園の基本情報や活用状況を確認したり、評価報告をもらったりするための方法を示す。

第2節では「P小学校」、第3節では「Q小学校」、第4節では「R小学校」、第5節「S中学校」第6節「T幼稚園」におけるプロトタイプの活用の実際について、観察された内容や、評価報告について、全体的な活用状況と、特徴的な活用状況に分けて報告する。

第7節「活用状況のまとめ」では、協力各学校園から寄せられた報告内容を項目ごとに要約するとともに、その活用度を概観し、当該項目とその内容をガイドブックに掲載するか否かについて考察（提案）する。

4. プロトタイプの改善にむけて

本章では、堺市教育センター指導主事で協議し、学校からの報告とともに、掲載の有無、改善点の導出、目次の決定に至る過程について述べる。

第1節「所属内での意見収集から修正点の導出」では、所属内会議において出されたプロトタイプに対する意見と学校からのフィードバックされた評価・改善事項から掲載の有無を決定し、同時に導出された修正点について整理する。

第2節「ガイドブック目次の決定」では、前節を受け、決定された目次を表す。

5. ガイドブックの普及に向けた戦略

本章では、このガイドブックの普及に向けた戦略について論じる。

第1節「リーフレットの作成」では、堺市のめざす校園内研修像について、研修主任だけでなく、管理職や教職員、指導主事等にも周知するために作成したリーフレットについて、内容と構成の工夫を詳述する。

第2節「指導主事への伝達および指導主事研修の実施」では、堺市がめざす校園内研修についての伝達研修を述べる。

第3節「管理職への周知」では、堺市がめざす校園内研修像が書かれたリーフレットと、「授業改善につながる校園内研修ガイドブック」の周知について言及する。

第4節「イントラネットへの掲載、研修主任研修での周知」では、できるだけ活用度を高くするためのイントラネットへの掲載について触れる。また、第3回の研修主任研修におけるガイドブック活用のための研修プログラムについて提案する。

第5節「育成指標とのタイアップ 自己点検と展望」では、ガイドブックが扱う校園内研修と育成指標とのタイアップについて触れる。また、これからの校園内研修の充実への展望について示す。